

2024年度 J S C A 三重地域春季水泳競技大会
競技役員打ち合わせ資料

- ・全体会議の会議時間短縮のため事前にご確認ください。
- ・全体会議は競技役員全員が同じ場所に集まることのないようにパート別に部屋を分けて行う。

1. 競技役員全般について

- ・当日体調がすぐれない方、自宅療養期間である方は参加を控えてください。
- ・事前に、全体会議資料・会場導線を確認すること。
- ・競技はタイムスケジュールどおりに行う。
- ・競技はオーバーザトップ方式とし、競技役員の指示で退水させる。
- ・競技役員控室については、予備室1・2とする。
- ・換気のため扉は開けた状態にするので貴重品の管理については各自で行うこと。
- ・朝のW-up時の公式スタート練習は、プールサイドコントロールを行うこと。
- ・競技役員は8時00分から9時00分までの間に受付を行うこと。
- ・弁当・役務費については11時から13時までに受け取りに来ること。
- ・各団体の控え場所の清掃を行い、ゴミは各団体で持ち帰ること。
- ・競技役員は競技会運営全般にかかわること。

2. 各パート主任

- ・各パートの主任は審判長に報告・連絡・相談をし、各パートの役割について競技運営がスムーズにいくように調整すること。

3. 審判長・副審判長・出発合図員・泳法審判員（パート別：スタジオ）

- ・通常の役務とする。
- ・審判長・副審判長は電子ホイッスルを使用する。
- ・出発合図員の交代の際にピストル・マイクの消毒を行う。
- ・5mフラッグの脱着は行わない。

4. 折返監察員（パート別：競技役員控え室）

- ・バックストロークレッジの脱着を行う。バックストロークレッジは0に合わせること。
- ・5mフラッグの脱着はしない
- ・レース終了後の選手は次組のスタートまで必ず水中待機させ、背泳ぎについては競技成立後、横退水させる。
- ・リレー種目については自レーンから退水させる。
- ・水中待機については、1~4レーンは電光掲示側レーンロープ、5~8レーンはダイビングプール側レーンロープにつかまり待機させる。
- ・退水については、1~4レーンは電光掲示側、5~8レーンはダイビングプール側からの横退水とする。
自レーンからの退水を禁止する。
リレー種目については自レーンからの退水とし、退水後は速やかに移動させる。
- ・折返監察員主任は折返監察員を観察しアピールがあった場合に確認し審判長に報告する。

5. 記録員・映像配信（パート別：指令室）

- ・通常の役務を行う。映像配信はYouTube配信を行う。
- ・賞状・記録証を参加団体別に準備し、終礼の際に賞状を参加団体へ配布する。

6. 機械操作員・コンピュータ係（パート別：機械操作員：機械席 / コンピュータ係：指令室）

- ・通常の役務とする。

7. 招集員（パート別：第2招集室）

- ・タイムスケジュールどおりの招集をすること。
- ・第1招集は10分前から行う。
- ・招集前の選手について招集時間まで時間のある場合は控場所に戻るよう指示する。
- ・招集へは招集を受けた選手のみ入室できるものとする。
- ・できる限り対面での招集を避けること。
- ・リゾリューションデスクを設置する。
参加団体から提出される棄権届・リレーオーダー用紙等の確認・処理を行う。
抗議文・テーピング許可願い等が提出された際は審判長に報告する。
抗議文は審判長が受理する。

8. 通告員（パート別：通告席）

- ・レーン紹介を行う。また必要時に場内に案内のアナウンスを行う。

9. 場内指令（パート別：医務室前プールサイド）

- ・会場内（更衣室を含む）を巡回し密にならないよう指示をする。
- ・観覧席下2階通路（出入口）1名、1階エントランス1名配置する。
- ・ストレッチスペースでの場所取り禁止、指定された出入口以外からの出入りをさせないこと。
- ・トレーナ活動は観覧席下2階通路のスペースのみ許可をする。
- ・3階フリースペースの敷物は許可するが、選手は荷物を置いたままにしないこと。
- ・撮影場所は所属選手のみ撮影を許可している為、常時の着席は禁止とする。撮影者のみが利用できる。

10. ライフガード

- ・朝のW-upからDown終了まで行うこと。

11. 受付について

- ・8時00分のチーム受付、競技役員受付の準備から行う。また、弁当配布の際に役務費も渡すこと。